

製品名: RELT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17011**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 46kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | RELT |
| 別名 | RELT; TNFRSF19L; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 19L; Receptor expressed in lymphoid tissues |
| 遺伝子 ID | 84957.0 |
| SwissProt ID | Q969Z4 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト RELT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430 |

背景

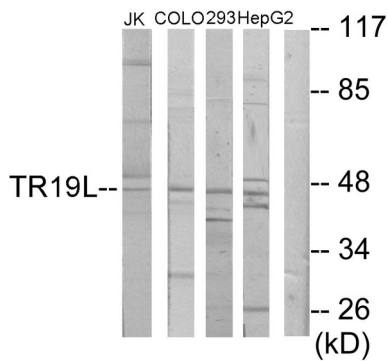
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体は特に血液組織に豊富

に存在し、NF- κ B 経路を活性化し、TNF 受容体関連因子 1 (TRAF1) に選択的に結合することが明らかになっています。この受容体は CD3 シグナル伝達の存在下で T 細胞の増殖を刺激することができ、免疫応答における調節的役割を示唆しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: NF- κ B の活性化を媒介します。T 細胞の活性化に役割を果たす可能性があります。、PTM: in vitro で OXSR1 によってリン酸化されます。、類似性: RELT ファミリーに属します。、類似性: 1 つの TNFR-Cys リピートを含みます。、サブユニット: TRAF1 と関連します。RELL1、RELL2、OXSR1 と相互作用する。、組織特異性: 脾臓、リンパ節、胸腺、末梢白血球、骨髄、胎児肝臓に最も多く存在する。骨格筋、精巣、結腸には非常に低いレベルを示す。脳、腎臓、膵臓では検出されない。、

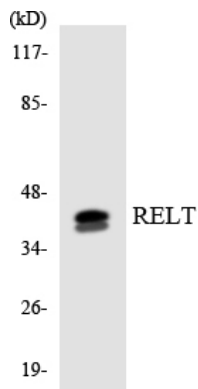
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



RELT 抗体を用いた Jurkat 細胞、COLO205 細胞、293 細胞、および HepG2 細胞のライゼートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RELT 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。